

竜王小だより

電話 055-276-2380

FAX 055-279-3161

編集：校長 奥山賢一

甲斐市立竜王小学校

第6号

H29. 10. 18



「みんなで頑張った運動会、大成功！」

「仲間と協力 勝利へ導け 力は無限大」を実感！

今年の秋季大運動会は9月30日(土)に素晴らしい天候の中で盛大に行うことができました。

運動会には、早朝より多くのご来賓の皆様、地域の皆様、祖父母の皆様、保護者の皆様にご参集いただき、ありがとうございました。

今年の運動会のテーマは、「**仲間と協力 勝利へ導け 力は無限大**」に児童会が決めました。開会式の校長のあいさつでは「竜王小ならではの競技や演技を精一杯、力を合わせて発表します」と、話させて頂きました。

各学年やブロックの実際の競技や演技は練習の成果が表れた質の高いものになりました。

3・4年生の演技は長年「ソーラン節」と「花笠音頭」が隔年で行われていましたが、今年から「THE 風林火山」に演目を換え、郷土甲斐の国を意識した演技にしました。鳴子を使いながら力強い動きとフォーメーション変化でこれまで以上に精度の高い演技となりました。1年生のイロトリドリもカラーボンボンを両手に持って、リズミカル

な演技を表現してくれました。5・6年生の組み立て「**虹の架け橋～151人の絆でつなげ!**」では、一糸乱れない演技が28分間繰り広げられました。気持ちを一つに練習の成果を発揮しました。7段ピラミッドや5段タワーの大技も力強く表現することができました。演技が終了すると感動から割れんばかりの拍手を頂きました。ご指導頂いたアストレの花輪さんも、指導した私たち教職員も、目を真っ赤にして喜び合いました。

勝敗は1位赤組と白組、3位青組でしたが秋空は児童全員をたたえてくれていました。

ご協力、ご支援をありがとうございました。

また、10月16日(月)には、カザフスタン国の数学教育学者(バヘットグル教授)が教育視察にお越しになり、4年1組の算数の授業(有賀教諭)を参観され、大変レベルの高い授業だと賞賛されました。



4年1組の算数授業



5・6年生の組立体操 虹の架け橋～151人でつなげ!

全国学力学習状況調査の状況について

4月18日(火)に実施された「全国学力学習状況調査」については、学校で調査結果を分析し、その状況とこれからの取組についてまとめました。裏面にお示しします。

<運動会から>



1年生の競争「君の名はオーダマン！」



3・4年生の表現「THE 風林火山」



2年生は「玉入れ」でお年寄りと入場



5・6年生の組立体操 虹の架け橋～151人でつなげ!



左からバヘットグル教授・守屋誠司教授・通の方

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに「知識」をみるA問題の方が、「活用」の力をみるB問題よりも正答率が高い傾向が続いています。また、平均正答率は、A・B問題ともに全国とほぼ同程度です。
- ・国語では、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることについて学習の成果が出ています。一方、提示された文章から、問われた内容について根拠となる文章を読み取り、要約して答えることに課題がありました。
- ・算数では、特にICT機器活用、具体物操作の取組により図形の面積や角度、立体の面の位置関係習得に成果がみられます。一方、統計表の読み取り方、作成の仕方に全国同様課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「自分には、よいところがあると思いますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「学校の授業以外に、普段の1日当たりの学習時間が1時間未満」とした子どもの割合が高いです。
「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」とした子どもの割合が全国に比べて低いです。
「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」とした子どもの割合が全国に比べて高いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・根拠となる文章に線引きし、要点をまとめたり、簡単に要約したりして短い表現で表す学習を確実に積み上げていきます。
- ・高学年児童が、自分の考えを作文に綴り、相手にわかりやすく伝えられるように推敲を重ねて発表する「お話タイム」を、今後も継続して毎週木曜日の給食時に全校放送で行います。話し手は考えを伝える力を磨き、聞き手は仲間の発表に学びます。
- ・朝学習や家庭学習も活用して、筆順や字形に特徴がある漢字も習得できるよう定期的に復習します。
- ・算数の授業では、統計表のどの部分からどんなことがわかるのか、ICT機器も活用しながら丁寧に確認します。また、統計表の見方、作成について、他教科と関連させて指導します。
- ・小数と整数の計算、加減乗除が混ざった計算は、計算方法を混乱してしまうことがあるので、確実に身につけるために朝学習や家庭学習で定期的に復習します。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、子どもたちが自らの学習に取り組めますよう引き続きご支援をお願い致します。
- ・ゲームや携帯電話、スマートフォン等の使用時間を再確認し、時間のルールを守らせましょう。
 - ・地域や社会で起こっている問題や出来事を知り、自分の考えが持てるように、親子一緒にニュースや新聞をみたり、家庭で話題にしたりしましょう。